

事務事業名	障害者住宅改造アドバイス・助成事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠
政策名	総合計画体系 0:6 1:7 3:3:4:3	誰もが自立し、社会参加できる福祉環境づくり	所属部門	住民福祉 部 保健福祉 課 福祉 係(グループ)
施策名		障害者の自立と社会参加の促進	課長名	江口 久子
基本事業名	福祉サービスの充実	予算科目	会計 款 項 目 事業	0:1:0:3:0:1:0:6:0:8 在宅福祉サービス事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 ↳ ( 開始年度 平成17 年度 ~ ) ↳ ( 年度 ~ 年度 )			

事業概要 身体障害者における日常生活の便利を向上するための住宅改造等にかかる費用を一部助成することにより、その居住環境の改善を図るとともに、好ましい家族関係の維持及び対象者の自立促進に寄与することを目的とする	全体計画 (単位:千円)	特定財源	
	投入量	事業費	
		一般財源	
		その他	
		事業費計 (A)	
		正規職員従事人数	
人件費			
人件費計 (B)			
トータルコスト(A)+(B)			

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 平成16年度の実績はなかった。(申請がなかった)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない
17年度計画 引き続き制度を維持し、申請に基づき申請資格、助成額の決定、申請者の負担額、申請書類の確認を行い速やかに助成の可否を通知する。	名称 単位 ア 申請件数 件 イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのが)*人や自然資源等 64歳以下の者で身体障害者手帳1・2級を所持し、住宅改造を必要とする障害者及びその他障害により日常生活に支障をきたす者で、町長が特に住宅改造が必要と認める障害者	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 助成額 千円 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのが) 障害者の住宅環境を改善することにより、障害者本人はもとより介助する家族の体的・精神的負担軽減を図る。	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 負担が軽減された世帯数 世帯 イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのが) 住宅環境の改善により、好ましい家族関係の維持と障害者の自立支援に寄与する。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 好ましい家族関係が維持された世帯 世帯 イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度 (実績)	15年度 (実績)	16年度 (実績)	17年度 (見込)	18年度 (目標)	19年度 (目標)	年度 (最終目標)	
投入量	事業費	千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源	千円	0	30	0	205	205	205	
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	事業費計 (A)	千円	0	30	0	205	205	205	205
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2		
	人工	年間		0.0000					
	人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	30	0	205	205	205	205
活動指標	ア 件	0	1	0	1	1	1	1	
	イ								
	ウ								
対象指標	ア 千円	0	30	0	205	205	205	205	
	イ								
	ウ								
成果指標	ア 世帯	0	1	0	1	1	1	1	
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア 世帯	0	1	0	1	1	1	1	
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 住宅の構造を要因として、在宅の身体障害者及び同居する家族が不便な生活を強いられ、経済的な事情等により住宅改造が不可能であった者の要望や町としても在宅身体障害者のための施策として好ましい住宅環境の実現をめざし始まった。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 対象者の住宅環境の整備が進み、近年申請件数が減少しているが、少子高齢化の進展と核家族の増加から今後は住宅環境の整備に対する支援の要望が増加すると思われる。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 特になし。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価						
目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	住宅環境の改善により、好ましい家族関係の維持と障害者の自立支援に寄与している。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	重度身体障害者のための住宅改造アドバイスであり、一定程度の助成は必要	
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input type="checkbox"/> 余地がある [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	重度の身体障害者に限定しており、対象者の範囲は妥当	
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 余地がある [原因]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	現在の助成限度額の範囲ではこれ以上の成果の向上余地はないと考える	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ 廃止した場合、民間の住宅改造アドバイスを聞くことになるが、助成制度の廃止により重度身体障害者の経済的負担が大きくなる。	
有効性 評価	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業)		民間業者も障害者のためのアドバイスをしている		
		<input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能	3 改革・改善方向の部へ	<input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない	↷ [理由]	
		<input type="checkbox"/> 他に手段がない	↷ [理由]			
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input type="checkbox"/> 貢献した ↷ 【具体的に】	<input type="checkbox"/> 貢献していない ↷	【全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由】		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	【具体的な影響】 ↷ 【問題解決策】 3 改革・改善方向の部へ 介護保険制度の住宅改造と助成金額の整合性をとっているため、事業費の削減は不可能と考える	
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 不可能	[理由] ↷	必要最小限の事務処理であり、削減は不可能
	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由]	3 改革・改善方向の部へ	<input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	住宅改造には多額の経費を要し、その一部を助成していることから公平・公正な負担割合となっている	

3 改革・改善方向の部(PLAN)																							
(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持					低下	×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			×																			
	維持																						
	低下	×	×																				
(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？  議会の理解が得られるかが課題。																							